

オープンソース管理ソリューション

OSSのライセンス管理を実現し、コンプライアンスを強化

日立金属株式会社 情報システム事業・ワイヤレスアンテナ事業が、2016年に独立して新たなスタートをきったAPRESIA Systems。今回は「オープンソース管理ソリューション」の導入で、OSS*のライセンス訴訟などのリスクから防衛し、コンプライアンスを強化した事例のご紹介です。 ※OSS:オープンソースソフトウェア



課題

多種多様なOSSを使用し、管理はバラバラ

訴訟などのリスクから防衛し、コンプライアンスを強化したい

日々の業務が忙しくなり、ツールの運用に時間を割けない

イーサネットスイッチ製品のOSの開発に適用し、管理を一元化

知らないうちにライセンス違反に陥るリスクを低減

ツールを熟知する日立ソリューションズへ運用代行を依頼

効果

導入の背景

OSSの管理は、各部署やプロジェクトによってバラバラ

さまざまな情報システム製品とソフトウェアを開発するAPRESIA Systems(当時は日立電線の事業部門)では、多種多様なOSSを使用していました。一方、OSSの管理については、各部署やプロジェクトによってバラバラ。リスト化している部署はあっても、ライセンスまでは管理できていませんでした。

「GPL(GNU General Public License)に関する訴訟など、IT業界内の話として聞いていましたので、自分たちが使っているOSSについては気を付けていました。ですが、社内の業務フローは従来のまま。ライセンス管理を強化するための対策を施さなくてはいけない。訴訟などのリスクから防衛し、コンプライアンスを強化しなければいけない。ただ、何をすればいいのかよくわからない。そう考えているところでした。」(石崎氏)

「ちょうどその頃、日立ソリューションズの営業の方から“こういうツールがあるのですが”と紹介していたのが、『Black Duck Protex』でした。」(赤川氏)
これをきっかけに、OSSの管理ツール導入への取り組みがスタートしました。

選定までの経緯

具体的な提案があり、知識やノウハウが豊富なエンジニアがいる日立ソリューションズを選定

OSS管理ツール導入は、調達部門と開発部による調査と情報収集から着手しました。

「ネット上の情報だけでなく、展示会にも出向いたりして、いろいろと調べたのですが、あまり適したものはありませんでした。」(安藤氏)

「まったくないわけではないのですが、OSSやライセンスに関するデータベースがしっかりしている本格的なツールはありませんでした。ですから『Black Duck Protex』を入れるか入れないか、そういう選択での検討になり導入を決定しました。」(石崎氏)

「Black Duck Protex」のベンダとしては、複数ある販売代理店の中から日立ソリューションズを選定。

「一番最初にツールを紹介していただいた企業であること。そして、ソリューションの紹介から、コンサルティングサービスなどを説明していただき、その後、スケジュールまで入った資料でプレゼンテーションを受けました。具体的な提案があり、知識やノウハウが豊富なエンジニアがいることもわかり、一緒に取り組んでいけば間違いないと思ったのが、日立ソリューションズを選んだ理由です。

また、導入が決まってからは、説明会と勉強会を開いていただくなど、手厚くサポートしていただきました。」(赤川氏)

「みんな普段の開発業務をこなしながらですから、新しいツール使うこと自体、手間がかかります。その点、日立ソリューションズは、いろいろとお手伝い

ただで、必要であれば運用代行まで行えるので、安心してお任せできると考えました。」(石崎氏)

Interview



APRESIA Systems
株式会社
ネットワーク事業本部
開発部
主管技師 石崎 洋 氏



APRESIA Systems
株式会社
ネットワーク事業本部
開発部
ソフトウェア開発第一グループ
グループ長 赤川 智宏 氏



APRESIA Systems
株式会社
ネットワーク事業本部
開発部
ソフトウェア開発第二グループ
主任 上川 武人 氏



APRESIA Systems
株式会社
ネットワーク事業本部
開発部
ソフトウェア開発第一グループ
安藤 裕太 氏

導入時の取り組み

導入後、日立ソリューションズへ
運用代行も依頼

「Black Duck Protex」は、APRESIA Systemsのイーサネットスイッチ製品APRESIAシリーズのOSを対象に適用することになりました。

「導入は、サーバスペックの問題で、多少の苦勞がありました。ですが、日立ソリューションズのエンジニアの方に、高速化のための対処、データベースの移行などで相談に乗っていただき、また開発元であるBlack Duck社にも問い合わせで回答を引き出していただいて、かなり助かりました」(安藤氏)

APRESIA Systemsでは、導入後に、日立ソリューションズへ運用代行も依頼。

「当初は私が『Black Duck Protex』を使って解析を行い運用していたのですが、徐々に日々の業務が忙しくなってきたり、時間を割けなくなってきました。また、より正確で信頼性の高い報告書を作成するために、OSSのライセンスに関する問題や、ライセンスが不明なOSSの分類などを、適切に扱って処理する必要があり、そのための時間も足りない。そういったことも、運用代行をお願いする背景にありました」(安藤氏)

導入の効果

コンプライアンス違反に
つながるような訴訟などの
懸念を払拭

「Black Duck Protex」と、日立ソリューションズの運用代行による導入効果は、以下の通り。

- 膨大なソースコードのライセンスチェックを実現。
- 知らないうちにライセンス違反に陥るリスクを低減。

1. オープンソースの意図せぬ混入を防止。
2. 人の判断ではほぼ不可能なOSSの類似コードを検出。

「特にコンプライアンス違反につながるような訴訟などの懸念が払拭されたことが、一番大きな効果だと思います」(上川氏)

「これまででは、オープンソースをまとめて持つときに、基本的にはそのオープンソースの代表的なライセンスしか気にしていなかったのですが、チェッ

クをかけるといういろいろなライセンスが混在していることがわかります。これにも、十分に注意しなければいけません」(石崎氏)

「具体的にあったのが、書籍掲載のソースコードのケースです。ある書籍に掲載されたソースコードを流用して、プログラミングを進めていたのですが、この一部について、『Black Duck Protex』の検証で、GPLにマッチすることがわかりました。そこで、日立ソリューションズの運用代行に相談しました。GPLに適合する場合、ライセンス条項と出典元の記載が必要になるなど、いろいろと教えていただきながら、書籍の出版社へ問い合わせ確認し、適切に対処することができました」(上川氏)

「おかげで、ソースコードのライセンスに対する理解が、より深まり、意識も高まったと思います。また、日立ソリューションズの運用代行については、お願いしたところだけではなく、いろいろ提案いただいたことも多かったですね。我々のノウハウがない部分でも、一緒に作り上げていくことができる、そんな企業だと実感しました」(石崎氏)

今後の展望

脆弱性の管理、
レコメンドシステムとの連携による
システム化などを提案

今後の「Black Duck Protex」については、様々な活用の拡大を計画。

「OSSのライセンスチェックを手間をかけずに行えるようになれば、次はチェック実施の頻度を上げられるようになります。現在は、バージョンアップを節目としてチェックしていますが、もっと早く細かく

実施できれば、想定外のライセンス混入などであっても、より早い段階で手を打つことができます。日立ソリューションズから、工数削減や活用範囲の拡大にもつなげられるという話も出ていますので、ぜひ、役立てていきたいですね」(石崎氏)

また、日立ソリューションズでは、Black Duck Hubの適用による脆弱性の管理、レコメンドシステムとの連携によるシステム化、さらにはSEPG(Software Engineering Process Group)コンサルティング支援業務としての活用拡大、機能強化などの提案を用意。

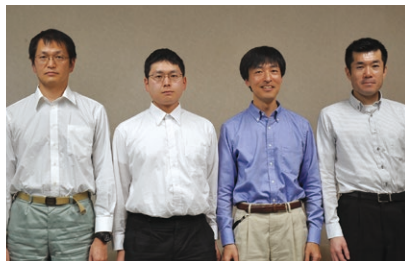
「そういった点を含めると、開発手法の統一化などのプロセス改善も必要になってくると思いますので、日立ソリューションズにアドバイスをいただきながら効率的に進めていければと考えています」(上川氏)

「『Black Duck Protex』は、数多あるOSSのライセンスをデータベースにまとめるだけでも、他にはないツールです。それだけに、日立ソリューションズの知識レベルの高さ、柔軟な対応には、とても助かっています。今後も、お願いしていきたいと思っています」(安藤氏)

「私たちが思いつかないようなアイデアで、これからも私たちに補っていただけるよう期待しています」(赤川氏)

「レコメンドシステムとの連携もありますので、単なる業務の発注ではなく、協業というカタチにしていければと思っています。一緒に作っていききたいですね。ぜひ、今後ともよろしくお願いします」(石崎氏)

Company Profile



つくばネットワーク技術センタの皆様

APRESIA Systems株式会社
[APRESIA Systems, Ltd.]

本社所在地	東京都中央区築地2丁目3番地4号 築地第一長岡ビル
設立	2016年(平成28年)10月7日
従業員数	約350名
事業内容	情報システム製品及びソフトウェアの製造・作成・販売並びに保守

<http://www.apresiasystems.co.jp/>

※本事例の内容は取材時点(2016年12月)の情報です。※本文中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本文中の情報は、事例作成時点のものです。



本事例のwebページはこちら

www.hitachi-solutions.co.jp/sbom/case03/

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/sbom/

J16S-20-03

2017.05